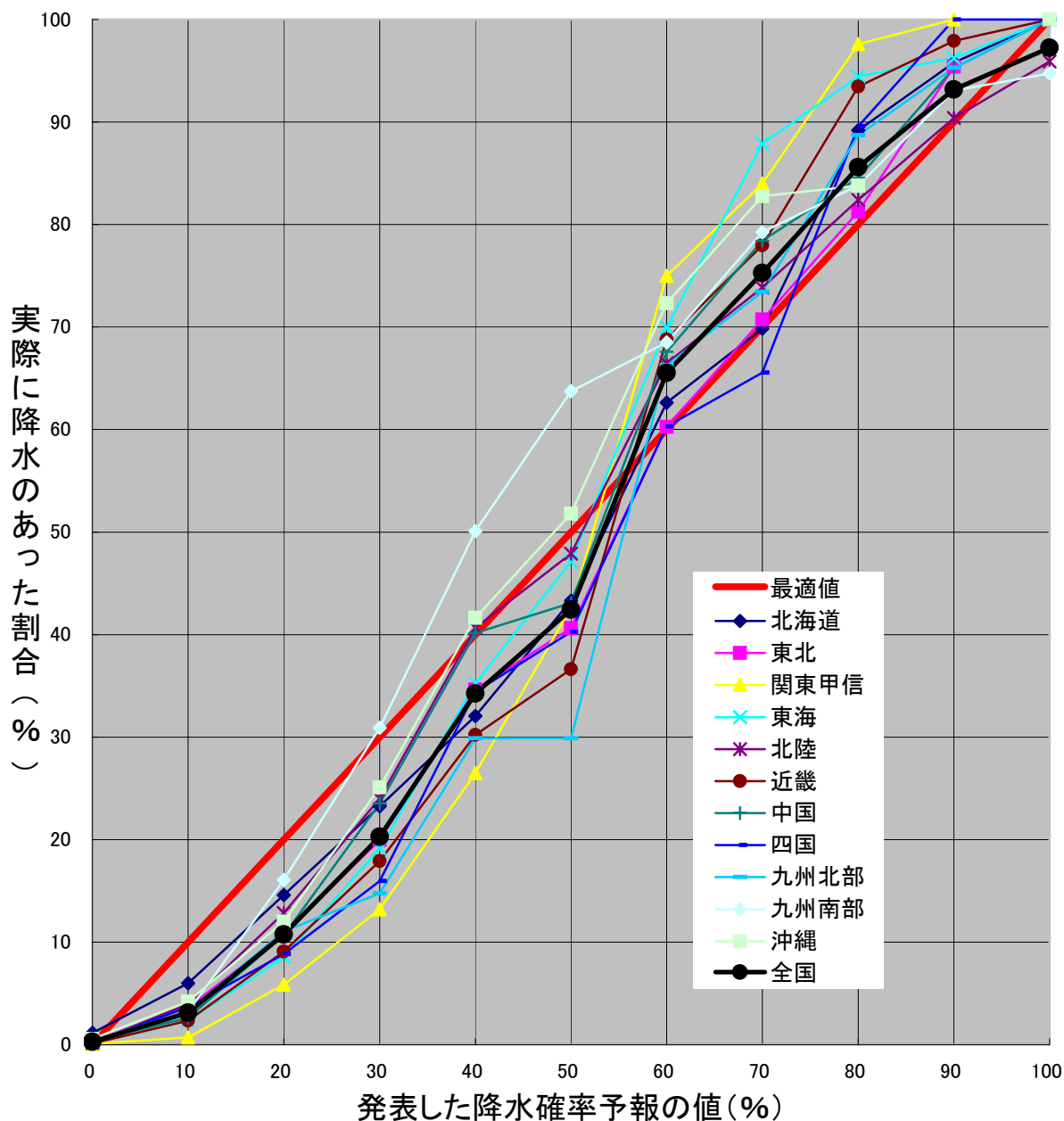


24時間先までの降水確率予報の精度 (2005年12月～2006年2月)



天気予報で10%きざみで発表した6時間単位の「降水の有無」の確率(降水確率予報)に対して実際に1mm以上の雨が降った割合を示しています(赤い実線は最も良い予報を発表した場合の対応関係)。

全国平均(黒の太実線)では、60%から80%の高い降水確率予報値では実際の降水頻度は多めに、逆に10%から50%の低い降水確率予報値では実際の降水頻度は少なめになっています。この期間では降水確率予報を30%と発表した時には、平均的には10回に2回程度雨が降ったことになります。

(注) 6時間の降水確率予報の集計:

5時発表の6時～12時、12時～18時、18時～24時、24時～翌日6時
 17時発表の18時～24時、24時～翌日6時、6時～12時、12時～18時